

# 令和7年度 第2回 福岡市生活交通確保に係るアドバイザー会議 議事録

【日時】 令和7年12月19日(金) 16:00～17:15

【出席者】 辰巳 浩 福岡大学 工学部長  
稲永 健太郎 九州産業大学 理工学部 情報科学科 教授  
藤田 和子 公認会計士・税理士  
小林 由希子 市民局コミュニティ推進部長  
松岡 淳 住宅都市みどり局都市計画部長

## 1. 開会

## 2. 生活交通に関する取組み状況について

### ①既存取組地区

事務局より資料4について説明。

### 〈質疑及び意見交換〉

委員) エリア①東区は新宮町、エリア②南区は那珂川市などに隣接しているが、これらの2つの自治体に対して、福岡市としては説明にとどめるのか、若しくは利用のお願いをするということをお願いするのか、考えがあれば聞かせていただきたい。

事務局) エリア①東区は新宮町、エリア②南区は那珂川市と春日市に隣接している。地域と協議する中で、隣接する市町も日常生活圏であることから、一部運行区域にし、関係自治体とも停留所等の協議を行っている。また、利用にあたっては「福岡市に行く際は乗車可能であり、是非ご利用を」ということをお伝えしている。

委員) 15ページに最優秀提案者としてチョイソコグループに決定したとあるが、応募自体は何社から応募があったのか。

事務局) 今回、募集期間を10月8日から11月11日の1ヶ月強とし、エリア①からエリア④の計4エリアでの事業者公募を行った。結果としては、現在、社会実験に取り組んでいる株式会社アイシンを代表企業とするチョイソコグループの1グループからの応募となっている。

- 委員) 11 ページについて、単独校区等はデマンド交通を基本に検討とあるが、デマンド交通がコスト的に安価で、単独校区はデマンド交通の方が良いという理由を教えてほしい。
- 事務局) デマンド交通は、一定区域や路線で時刻を定め予約に応じて運行するものとしており、周辺校区からの応募がなく単独校区となった地域など、主に郊外部の人口が少なく集落が点在している地域で検討を進めていくこととしている。  
運行経費については、システム運用が伴わずコールセンター運営もタクシーと兼用できることや、予約に応じての運行で終日車両等を拘束するものではないと考えており、休廃止対策の事例では、オンデマンド交通より安価となっている。
- 委員) 公募の評価委員として参加したが、金額面について、1 グループの応募であり比較できず、市が適正な金額を算定するという事に留まった。  
運行エリアによっては、午前中 2 台や土曜日運行を追加するなど、予算も膨らんでくるため、透明性を持って、市民や各委員に対し、説明いただく方がいいと考えている。
- 事務局) 今回、1 グループからの応募となり、価格面としても競争性がうまく働かなかったが、周知をはかるとともに一定の募集期間をとり公募を実施したと認識している。今後、他地区への公募も検討しており、地域に根差された運行事業者により多く参画いただきたいと考えており、周知や募集期間など、多様な参画を促せるよう工夫をしていきたい。  
一方で提案価格等については、企業情報もあり内訳などをどこまで公表できるかなどはあるが、市の補助金等に関することでもあることから、今後、中身をしっかりと精査したいと考えており、しかるべき形で、会議でも提示ができるように検討していく。
- 委員) 16 ページについて、新しい提案としてワнтаイム利用制度があり、帰省・ビジネス・観光などの需要を取り込むためと記載されているが、今回の運行を考えた場合、郊外部も多く帰省・ビジネス・観光での需要がどのくらいあるのかと思う。一方で、利用未経験者も多く、まず乗ってもらい便利さを感じてもらおうといった最初のハードルを下げるという意味ではいい提案だと思う。  
このワнтаイム利用制度をうまく活用すれば、まずは 1 回利用していただき、その後登録に促すことで継続的なユーザーに繋がる可能性もあることから、活用について注目したい。
- 委員) ワнтаイム利用制度は、隣接している那珂川市や春日市、新宮町の方も利用できるのか。

- 事務局) 現在、会員になる場合は、郵送及びWEBで登録する手続きとなっており、記入項目が一定あると聞いている。ワンタイム利用制度は、WEBのみにはなるが、氏名や電話番号など簡単な項目で利用でき、基本的には誰でも登録・利用できると聞いている。
- なお、現在、会員登録数に対し利用経験者数が5割程度となっており、利用のきっかけづくりとして取り組んでいきたい。
- 委員) 4つの既存取組地区が今後新制度になるということだが、例えばエリア①で既に登録されている方が、他のエリア②③④で新たに登録をしなくても使えるのか。
- 事務局) 現在もエリア①で登録していれば、エリア②③も利用できるようになっている。また、既存取組地区については、今回、社会実験と同一事業者に決定しているが、会員登録は引き継ぐ形となり、現在同様、エリア①の方がエリア②③④でも利用できると聞いている。
- 委員) 事業者が同じというメリットがここに出ていると思う。新規取組地区で別事業者が運行することになった場合、こういったメリットが出てなくなる可能性もあり、そこはやむを得ないが惜しいなと思う。
- 委員) 運行が別々の事業者であっても、市が間に入ることで、一方を登録すると、もう一方のエリアも自動的に登録できるようにはできないのか。
- 事務局) 事業者が違う場合の登録については、まだ経験したことがなく、個人情報の関係もあり、なかなか難しい部分もあると考えているが、現在の事業者に確認しつつ協議はしていきたいと思う。
- 委員) 個人情報に関しては本人の承諾さえあれば良いと思う。いずれにしても確認手続き等は必要になると思うが、今後そういうサービスはできた方がいいと感じる。

### 3. まとめ

- ・本会議で出た意見も踏まえ、既存取組地区については、事業者から様々な提案もあっており、今後、一層利用促進や周知活動等に取り組まれるとともに、新規取組地区については、関係者間でしっかりと連携されたい。

### 4. 閉会